

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2021年6月27日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel.:075(611)9135 FAX:075(602)9117

みんなで声をあげ、長年の願いが実現

小栗栖西団地31棟にエレベーター設置決まる!!

長年の住民の皆さんの願いがついに動き出します。高齢者も多く住む府営小栗栖西団地。階段の上り下りが大変で、エレベーター設置の要望がかねてから出されていました。31棟の住民の皆さんから「他の議員に相談したが京都府が無理と言っているからできない」と言われ、日本共産党に相談が寄せられました。

棟全員の嘆願署名集め 馬場府議と二人三脚で奮闘

馬場府会議員が議会で質問し京都府の担当者と協議してきました。また、住民の皆さんと一緒に府庁へ行き、直接交渉をしてきました。住民の皆さんは31棟の住民全員の嘆願書名を集めて提出する等、馬場府議と二人三脚で頑張られました。

府も「どうすればできるのか」との馬場府議の追及に「4階までなら可能」と答弁し、実現することになりました。あきらめずに声を上げれば願い実現です。7月から工事が始まる予定です。



総選挙勝利へ街頭から訴え

馬場こうへい府会議員と西野さち子市会議員は、総選挙に向けて日本共産党へのご支援をと訴えました。また、コロナ禍の下で苦しんでいる市民に対して、負担増を押し付ける行財政改革計画（案）に対して、声を上げましょうと訴えました。西野市議は「京都市は、前市長の時代から財政非常事態宣言を出しながらムダなゼネコン向けの大型工事を進めてきた。地下鉄東西線はゼネコン言いなりで143回も契約更新を繰り返し、2450億円だった建設費が2倍に膨れ上がった。高速道路も5路線の計画を推し進め、焼却灰熔融施設は建設費270億円、年間運転経費は毎年20億円。市民の反対の声で高速道路3路線も焼却灰熔融炉も中止に。ムダ使いが止められた。財政難をつくってきたのは市長の責任。ところがこの財政難の時にも、国道1号・9号・堀川バイパストンネル・北陸新幹線などの計画は進めている。コロナと財政難を口実にムダ使いの為の財政造りに利用し、福祉切り捨てを進める市政は許せない。国

言いなりで、国保料値上げ、保育料値上げ、敬老乗車証改悪、その上市民税減免制度廃止では市民の暮らしは成り立たない。国政を変え、市政を変えましょう！」と訴えました。



「行財政改革計画（案）」は撤回を

共産党市会議員団見解

日本共産党市会議員団は、市長が推し進めようとしている「行財政改革計画（案）」に対して、「くらしと生業を支援し、医療・公衆衛生を強化する政治へ～「行財政改革計画（案）」は撤回を～」を発表しました。第1はコロナ禍の状況で行政が最優先すべきは市民のくらしと生業の支援、コロナ封じ込め対策にもかかわらず、逆行している事。第2は収入の過少見積もりと支出の過大見積もりで財政不足を必要以上に強調し、市民を脅している事。第3は財政難の理由に大型公共工事にはほとんど触れず、福祉施策を原因にしている事。第4に財政難と言いながら不要不急の大型事業を聖域扱いしている事。第5に国が地方への財政支出を減らしていることを肯定し、市民に負担を押し付けている事。第6に受益者負担を前面に社会保障は権利であることを否定し市民や世代間に分断を持ち込む意図的なものである事です。

共産党議員団は、自己責任を押し付け福祉切り捨ての「計画」撤回と、おもとにある国政の転換に力を尽くします。